

平成27年度決算状況

「あきる野市土地開発公社」
「株式会社秋川総合開発公社」
「新四季創造株式会社」

あきる野市土地開発公社

あきる野市土地開発公社は、「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づき、市の全額出資により設立された資本金500万円の法人です。公有用地等の取得、管理、処分などを行うことにより、地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与することを目的としています。

- 事業概要** 平成27年度は、公社の解散に向けた所定の手続きを進め、市議会の議決と東京都知事の認可を経て、平成28年1月に解散しました。
- 資産概要** 解散時の公社の資産総額は、2635万円です。資産の内訳は、現金と預金が2635万円です。一方、負債総額は、115万円です。この結果、差引正味財産は、2520万円です。
- 公社の清算結了について** 公社は解散後、清算手続きを行い、5月末に残余財産の処分をもって、全ての手続きが終了しました。平成28年7月1日号の広報でお知らせしましたが、詳細については、市ホームページ（土地開発公社の解散と清算手続きの終了について）をご覧ください。

貸借対照表

(資産の部) 流動資産	2635万円
(負債の部) 流動負債…①	115万円
(資本の部) 資本金＋準備金…②	2520万円
負債・資本合計 (①＋②)	2635万円

株式会社秋川総合開発公社

株式会社秋川総合開発公社は、都市計画事業や市街地開発事業等に関する企画、立案、設計の受託業務などを主な業務として、昭和63年に設立された資本金1億円の株式会社です。

出資団体は、あきる野市、あきる野商工会、秋川農業協同組合などです。なお、発行済株式総数2千株のうち、1100株をあきる野市が保有しています。

- 事業概要** 平成27年度は、あきる野ルピアの管理業務、テナントの管理運営、管理組合関係の運営業務などを行いました。売上高は、複合ビル関係収入など5666万円で、経常損失は1067万円です。また、当期純損失は1085万円です。
- 資産概要** 平成27年度末の会社の資産総額は、1億6839万円です。資産の内訳は、現金や預金などの流動資産が3319万円、建物などの固定資産が1億3520万円です。負債は、預り保証金などの流動負債が3619万円、固定負債では長期借入金などが5635万円です。この結果、純資産は、7585万円です。

貸借対照表

(資産の部) 流動資産＋固定資産	1億6839万円
(負債の部) 流動負債＋固定負債…①	9254万円
(純資産の部) 株主資本…②	7585万円
負債・純資産合計 (①＋②)	1億6839万円

新四季創造株式会社

新四季創造株式会社は、温泉施設の管理と運営を主な業務として、平成18年に設立された資本金2千万円の株式会社です。

出資団体は、あきる野市、あきる野商工会、秋川農業協同組合、あきる野市観光協会などです。なお、設立に際して発行した株式総数400株のうち、204株をあきる野市が保有しています。

- 事業概要** 秋川渓谷瀬音の湯の管理・運営及び秋川渓谷戸倉体験研修センターの開設準備作業を行いました。売上高は、温泉、宿泊、レストラン、直売所の収入など3億9927万円で、経常利益は1482万円です。また、当期純利益は1212万円です。
- 資産概要** 平成27年度末の会社の資産総額は、1億4913万円です。資産の内訳は、現金や預金などの流動資産が1億3277万円、器具備品などの固定資産が1636万円です。負債は、未払金などの流動負債で7135万円です。この結果、純資産は、7778万円です。

貸借対照表

(資産の部) 流動資産＋固定資産	1億4913万円
(負債の部) 流動負債…①	7135万円
(純資産の部) 株主資本…②	7778万円
負債・純資産合計 (①＋②)	1億4913万円

※貸借対照表は、決算時点（平成28年3月31日）で会社（公社）が保有する資産、負債などの財政状況を示したものです。
※土地開発公社については、解散時（平成28年1月19日）の財政状況です。

市有財産の状況

- 土地面積（学校敷地など）597万4357㎡
- 建物面積（庁舎など）19万5986㎡
- 自動車保有台数（消防車両27台を含む）91台
- 出資金などの現在高1億287万円
- 基金の現在高38億6816万円

市債の状況

市 債 の 目 的			市 債 の 現 在 高	
一 般 会 計	普	土木債（道路などの整備のために）	39億1065万円	
		教育債（学校や図書館などの整備のために）	38億8091万円	
		衛生債（保健センターなどの整備のために）	29億5569万円	
	通	総務債（庁舎建設などのために）	25億5604万円	
		商工債（観光施設などの整備のために）	8億 270万円	
		消防債（消防施設の整備のために）	2億4424万円	
	債	民生債（保育所などの整備のために）	1億1280万円	
		そ の 他	臨時財政対策債※1（財源確保のために）	129億9013万円
			減税補てん債※2 など（財源確保のために）	9億 951万円
	計		283億6267万円	
下水道事業特別会計（下水道の整備のために）			222億1250万円	
合 計（①）			505億7517万円	
平成26年度末現在高（②）			498億 948万円	
差 し 引 き（①－②）			7億6569万円	

※1 臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

※2 減税補てん債とは、国の減税政策による個人住民税などの減収を埋めるために借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

(参考) 一部事務組合の借入金などで、当市が将来的に負担すべき額

区分		現在高
一部事務組合	阿伎留病院企業団	49億4549万円
	西秋川衛生組合	25億1584万円
	秋川流域斎場組合	2億3761万円
合計 (①)		76億9894万円
平成26年度末現在高 (②)		94億6075万円
差し引き (①－②)		△17億6181万円

健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）と資金不足比率を算定し、公表することが義務付けられています。あきる野市は、いずれも基準以下となりました。

○健全化判断比率

- 実質赤字比率** 一般会計などの赤字の、標準財政規模に対する比率
- 連結実質赤字比率** 戸倉財産区特別会計を除く全会計の赤字の、標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率** 実質的な公債費（全会計の公債費のほか、一部事務組合の公債費に対する負担金など）の、標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率** 一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率

健全化判断比率 (単位：％)

区分	あきる野市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	12.68	20.00
連結実質赤字比率	赤字なし	17.68	30.00
実質公債費比率	7.3	25.0	35.0
将来負担比率	61.8	350.0	

○**資金不足比率** 公営企業会計における資金不足額の、事業規模（料金収入）に対する比率

資金不足比率 (単位：％)

区分	あきる野市	経営健全化基準
下水道事業特別会計	資金不足なし	20.00